

2021 放デイくじらぐも自己評価表【事業者向け】（公表）

令和4年3月

質問項目	はい	いいえ	どちらとも言えない	無回答	回答に対する理解と対策	
環境・体制整備について	(1) 利用定員が、教育・トレーニング活動等スペース（室内／室外）との関係で適切であるか	5	0	0	0	
	(2) 職員の配置数は適切であるか	4	0	1	0	配置定数の基準を満たして営業している。職員への周知を図る。
	(3) 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	1	0	常にアップデートしている。スタッフ個人の感覚的な判断や印象にならないようにチームで意見のすり合わせを行いながら整備を進めていく。
	(4) 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	3	0	2	0	〃
業務改善について	(5) 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	1	0	要領を得ていない状況があれば改善していく。
	(6) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	0	1	3	オープニングの年度だったので、次年度に期待がかかる。
	(7) 事業所向け自己評価及び保護者向け評価の結果を踏まえ、事業所としての自己評価から得られた支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の通信やホームページ等で公開しているか	3	0	0	2	〃
	(8) 第三者（事業者、利用者以外の方々）による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	1	2	〃
	(9) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	3	0	内部研修（On-JT）は毎日のように行っているおり、外部研修（Off-JT）は今年度は、一人サビ児管の研修を受けている。今後は、研修に関する周知を徹底して行きたい
適切な支援の提供について	(10) アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	3	0	1	1	アセスメント、その他の諸情報の量に対して、要因分析、目標分析などが十分に行えず、情報過多になっている可能性がある。
	(11) 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	1	0	「ASIST学校適応スキルプロフィール」を活用している。
	(12) 個別支援計画には、くじらぐも全体支援計画に示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	1	1	全体支援計画の存在とその活用の意義について事業所内で周知を図る。
	(13) 個別支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	1	0	個別支援計画の目標や支援について日常的に確認できるシステムを今後も継続していく。
	(14) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	0	
	(15) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	2	0	まだ、検証不足、経験不足からか、自信が持てない状況にあるとの評価であると理解。
	(16) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	0	1	1	まだ、伸びしろがある、より良くなるという気持ちを忘れず、質の高い支援を求めていきたい。
	(17) 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	3	1	1	0	〃
	(18) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	1	1	準備できるプログラムとチームワークについては、振り返りスキルの向上とセットで日々精進していくしかない。
	(19) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	1	0	〃
	(20) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	1	0	〃
	(21) 定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	0	
(22) モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	0		

関係機関や 保護者との 連携につ いて	(23) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	0	
	(24) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	1	0	情報を何となく収集している状況であるとすれば、情報をさらに円滑に入手できるようなシステム作りを行う。
	(25) 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	0	服薬や、精神面のケアについては、今後、保護者様を通じて、必要に応じて医療機関と連携を図っていく。
	(26) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	2	0	今後の支援に必要な最小限の情報収集に努め、就学前の情報が必要な場合は連携を図る。
	(27) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	1	0	4	まだ、このようなケースがないが、必要に応じて行っていく。
	(28) 他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	0	まだ、このような機会がないが、準備はできている。
	関係機関や保護者との連携について〔(29) 他の放課後等デイサービス事業所との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか〕	5	0	0	0	
	(30) (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	4	1	0	コロナ禍で連携体制が脆弱化している。
	(31) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	0	
	(32) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	2	0	スタッフから直接保護者という構図ではなく、通信やモニタリング（面談）などでお伝えするスタイルをとっている。
保護者への説明責任等について	(33) 契約時他、運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	1	0	契約時の説明は、内容量が多いため、コンパクトかつ重要事項についての確認が必要になる。要領よくお伝えできるように努めている。
	(34) 放課後等デイサービスガイドラインの放課後等デイサービスにおける「基本的役割」ならびに「提供にあたっての基本的姿勢と基本的活動」を踏まえ、「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画書の同意を得ているか	5	0	0	0	
	(35) 必要に応じてあるいは定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	0	
	(36) 父母の活躍の場を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	0	マイクロレベルでは実行しているが、メソレベルで具体的な企画を勧めていく必要がある。
	(37) 子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	0	十分対応できていない部分がないかチェックし、さらに丁寧に対応できる体制づくりを進めていく。
	(38) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	0	
	(39) 個人情報に十分注意しているか	4	0	1	0	さらに徹底していく。
	(40) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	0	特に子どもまたはその保護者にどのような合理的配慮が必要かを常に考えながら対応していく姿勢をもつ。
	(41) 事業所の行事や活動に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	4	0	1	0	さらに地域に関わった事業所を目指していく。
非常時等の対応について	(42) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	1	0	特に保護者への周知は十分でなかった。周知できるよう改善する。
	(43) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	0	
	(44) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	2	0	研修機会が十分でないという評価である。研究・修養の機会の保障・確保に努める。
	(45) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で個別支援計画に記載しているか	2	2	1	0	現時点で、身体拘束の対応が必要な利用児がいないが、個別の対応については保護者と共通理解を図る。
	(46) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	2	0	医師の指示書を仰ぐケースはまだない。現時点では、保護者からの情報で対応できている。
	(47) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	1	0	ヒヤリハットについての研修も含め、過去の事例を教訓にし、日常の支援に活かす姿勢を持つ。
改善目標、工夫している点など（記述式）	(28) センターの役割の機能が機能していないこともあるが、専門的な助言を必要とする際の相談の構えは有している。 (42) 職員への周知はできているが、保護者等への周知が急がれる。 (45,46) 現時点では、配慮が必要な利用児がいないが、必要に応じて対応する準備はある。					